

# FRENSON JUNIOR CUP 2023

第37回全国中学校高等学校オリエンテーリング選手権大会

中高生のためのリスクマネジメント資料

無事に戻ってくるまでがオリエンテーリング



# I. はじめに

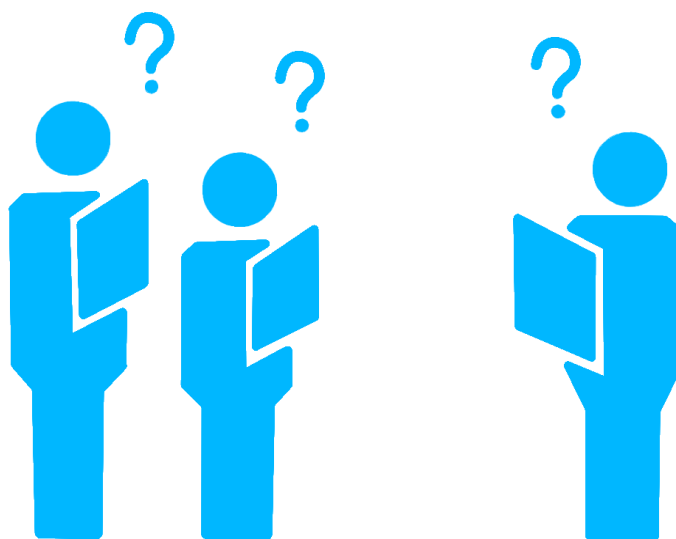
---

この資料は、主にナビゲーションスポーツの経験が浅い中高生を対象として、道迷い・遭難といったリスクとその対処を説明するものです。第37回全国中学校高等学校オリエンテーリング選手権大会で使用するトレインの特性を鑑みて作成しました。

道迷い・遭難は、最悪の場合競技者の命や捜索者の身の危険を脅かす重大なリスクの一つです。条件によっては、オリエンテーリングの競技歴に関わらず起こりえます。フィニッシュ閉鎖時刻を過ぎても競技者が会場に戻っておらず、運営者が捜索に行くという事例が散見されますので、併設大会に参加される方も是非この資料に目を通していただき、今一度ご自身のリスク管理を見直してみたいはいかがでしょうか。

なお、この資料は道迷い・遭難に限った説明となっておりますが、オリエンテーリングには他にも様々なリスクが存在します。一般的なオリエンテーリングのリスクとその対処については、日本オリエンテーリング協会作成の『ナビゲーションスポーツのための安全ガイド』

([https://www.orienteering.or.jp/wp-content/uploads/2023/06/safetyguide\\_5.pdf](https://www.orienteering.or.jp/wp-content/uploads/2023/06/safetyguide_5.pdf)) をご参照ください。



## II. 競技エリアから出ない

重大な遭難案件を防ぐために、まずは競技エリアから出ないことが大切です。競技中に持っている地図には競技エリアの情報しか描かれておらず、その外側の様子（地形や集落・主要道の位置など）を事前に把握していないと、遭難につながってしまいます。ここでは、「あいの土山」と「青年の城」それぞれのトレインについて、競技エリアから出ないために競技者の皆さんに意識していただきたいことを紹介します。

### ・あいの土山

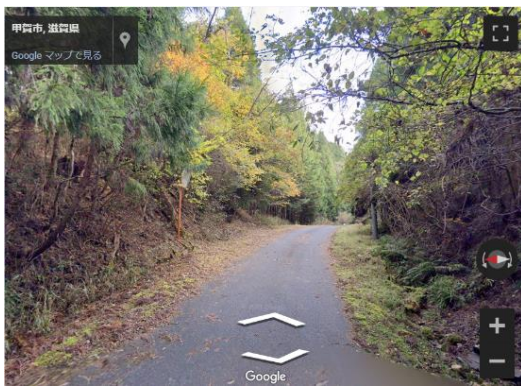


競技エリアの南端は、中央線のある幅の広い道路です。トレインの南側には一部同様のランクの道が存在しますが、道の分岐や河川との位置関係などから簡単に現在地を特定することができます。

北端は舗装された道路となっています（写真）。それを超えて北側には行かないでください。

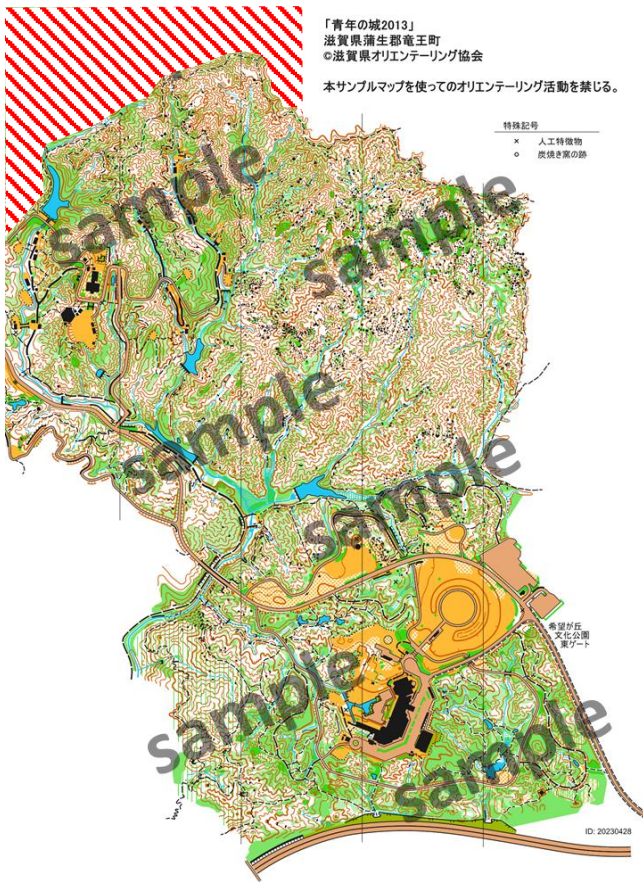
西端は、主に沢沿いの道が境界となっています。一部南北方向に道が繋がっていない箇所があるので、注意してください。

東端は、主に北東—南西方向に走る沢が境界です。その北西側にある競技エリア内の尾根とは直交する方向であることが特徴です。また、競技エリアの北東部分の境界は送電線となっています。鉄塔あるいは送電線より東側には行かないでください。



【写真1】旧図に▼で示す地点から東を見た様子

## ・青年の城



競技エリアの南部は道が明確な境界となっています。一部テレインの南西部に大きな尾根が境界となっている箇所があります。尾根を大きく超えて西側に下りていかないようご注意ください。

競技エリアの北部は、主に尾根上の小径や切通が境界となっています。地形が細かいため、十分に注意して競技を行ってください。

## Ⅲ. 競技時間が過ぎてしまったら

競技時間は競技者の安全を守るために設定されている時間です。競技時間を超えると失格になってしまい、記録は残りません。競技時間が経過したら、直ちに競技を中止し、速やかにフィニッシュまたは会場にお戻りください。

また、競技時間とは別に、未帰還者の搜索開始の一つの目安となるのがフィニッシュ閉鎖時刻です。フィニッシュ閉鎖時刻を過ぎてから帰還を開始するのではなく、フィニッシュ閉鎖時刻までにフィニッシュまたは会場に帰着してください。運営者や協力者の二次遭難を防ぐためにも、フィニッシュ閉鎖時刻を必ずお守りください。そのためにも、各々がトレイン内で時刻を把握できるよう、時計の携行にご協力ください。

万が一、競技時間が過ぎてしまった際の対応について説明させていただきます。

### ・フィニッシュ閉鎖時刻まで余裕がある場合

速やかに競技を終了し、フィニッシュまたは会場にお戻りください。「あいの土山」では、トレインの四方を道で囲まれているため、現在地が把握できていれば道を使うことで安全に帰還することができます。「青年の城」では、トレインを東西方向に貫く道路まで出ることが有効です。トレイン内には幅の広い水系も存在するため、気を付けてご帰還ください。

### ・フィニッシュ閉鎖時刻が経過してしまった場合 コンパスの破損等により自力での帰還が困難な場合

無理にフィニッシュ・会場に戻ろうとすると、より深刻な遭難案件へとつながってしまう可能性があります。近くにあるポストのそばで待機しててください。運営者がポスト撤収の際に未帰還者を早期に発見、会場へと誘導することができます。



## IV. 競技エリアの外に出てしまったら

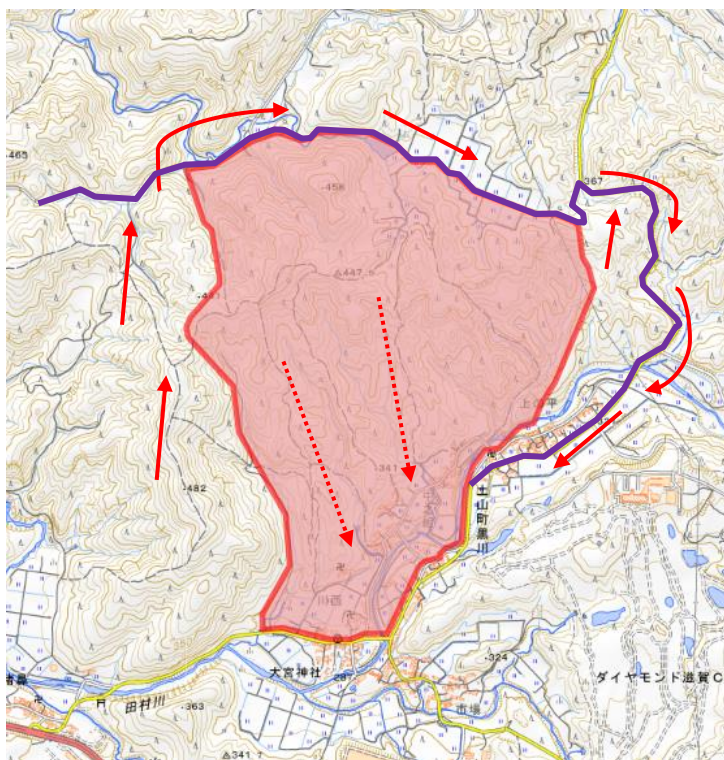
周囲を見渡してもポストが見つからず、地図に描かれていないような地形が現れた場合、競技エリアの外に出ている可能性があります。重大な遭難へとつながりやすいケースですので、落ち着いて行動してください。また、林の中で救助を待つことも想定し、笛の携行もご一考ください。フィニッシュ閉鎖時刻を過ぎている場合、地元の方に声をかけ、事情を説明したうえで電話を借り、地図に記載されている電話番号に連絡をしてください。

### ・競技時間内の場合

自分の辿ってきた道を慎重に引き返し、現在地を確定できるところまで戻ってください。競技時間内であればそのまま競技を続行することができます。

### ・競技時間外の場合—「あいの土山」

まず第一に、競技エリア北側の境界の舗装路を超えて北側には行かないでください。競技エリアの西側もしくは東側に居る場合、北の方向に移動し、舗装路に出ることを目指してください。舗装路に出たら、競技エリアの周りを時計周りに周るようにして会場まで帰還してください。競技エリア外に居る場合、南の方向へ動く急な斜面があり危険です。



地理院地図をもとに作成

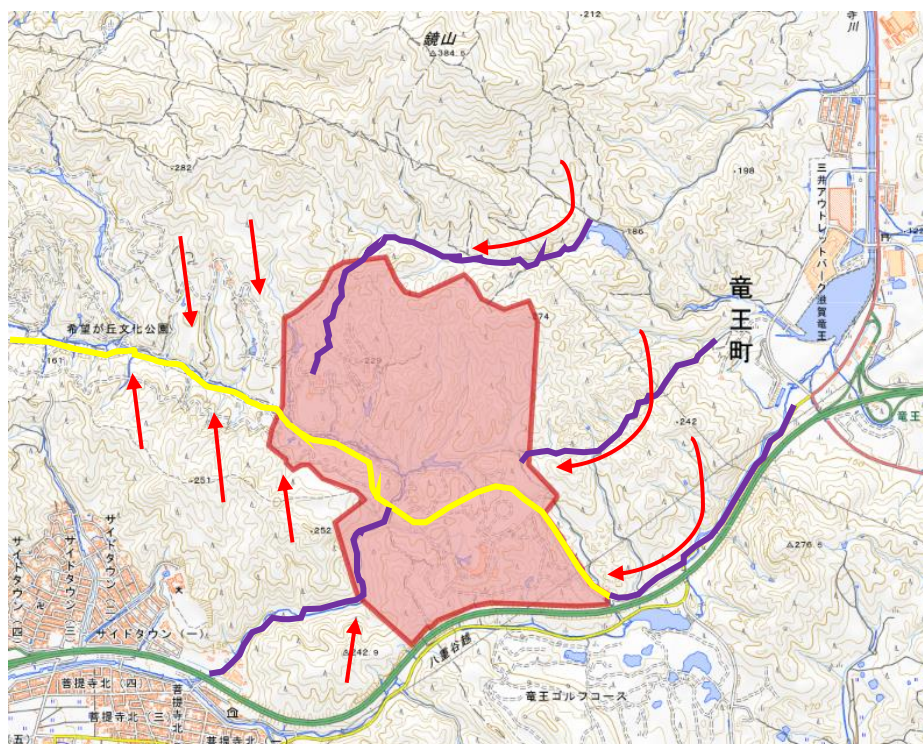
※テレイン内に居ることが分かっている場合、南下することで安全に会場へと戻ることができます。

- ← : 競技エリア外から会場に戻る際のエスケープルート
- : エスケープルートとして使える主要道



## ・競技時間外の場合—「青年の城」

トレインを東西に貫く道路の南側に居る場合、北に向かうことでその道路に出ることを目指してください。トレイン南西部にもある河川沿いの道に出て北東方向に辿ることで競技エリア内に戻ることができます。競技エリアの東側に居る場合、南に向かうことで、高速道路沿いの道か林道に出ることができます。道路に出たら西の方向に辿ることで会場を目指してください。競技エリアの北側に居る場合、斜面を下ることで沢にある道か希望が丘文化公園に出てください。沢の道に出た場合、西に辿ることで競技エリア内に戻ることができます。鏡山の急峻な斜面を登っていってしまうと危険です。



地理院地図をもとに作成

←：競技エリア外から会場に戻る際のエスケープルート

—：競技エリア外西側に居る人が目指すべき道路

—：エスケープルートとして使える道

## ・おおまかな現在地も分からなくなってしまった場合

可能であれば、斜面を登ることでピークや尾根上で救助を待ってください。沢に下りると、予期しない切り立った地形があったり、降水時は流路となったりと大変危険です。また明るい尾根上の方が発見に至るまでの時間が短くなる傾向があります。救助を待っている間は、雨風を防ぐなどして体温の保持に努めてください。

## ・怪我や急峻な地形に阻まれて身動きがとれなくなった場合

無理に移動しようとせず、その場で救助を待ってください。笛を吹いたりすることで自分の存在を知らせることが有効です。

